

建築用金属内外装材の製
作・工事業のフロント（本
社・東京都新宿区、社長・
松川博行氏）は、独自の研
磨手法を駆使した金属仕上
げ技術「FRONT CR」る。

AFT（フロント クラフ 黒と白、ブラウン系の3
ト）を鋼板表面に施した 種類を基準色として取りそ
ステンレス「クラフト スルろえ、ユーザーの要望に応

建築用金属内外装材の「フロント」

ステンレスを独自研磨仕上げ

多彩な空間デザイン追求

機能も維持

「ステンレス」をラインアップ
にした特注の仕上げにも対
に加工した。

「クラフト ステンレス」
は、耐食性の高さや強度、
加工性の良さといった従来
ステンレスが持つ機能を維
持したまま、カラーステン
レスならではの限られた色
調や補修できないといった
課題を解消。これまでの

フロントでは、金属材料
の中でも幅広い用途が特徴
のステンレスに対し、独自
の研磨手法による新たな仕
上げ技術の研究開発に取り
組んできた。耐候性鋼の仕
上げ加工で培ってきたノウ
ハウをベースに、高耐食性
めつき鋼板で同技術の採用
機会を広げる中、ステンレ
スをめぐる「かつてない表
現」（同社）の実用化を通じ
て、多彩な空間デザインを
追求していく。



弘前れんが倉庫美術館（青森県）では、サッシと扉、イン
ターホンパネルに「クラフト ステンレス」を採用